社会福祉法人

栃木市社会福祉協議会

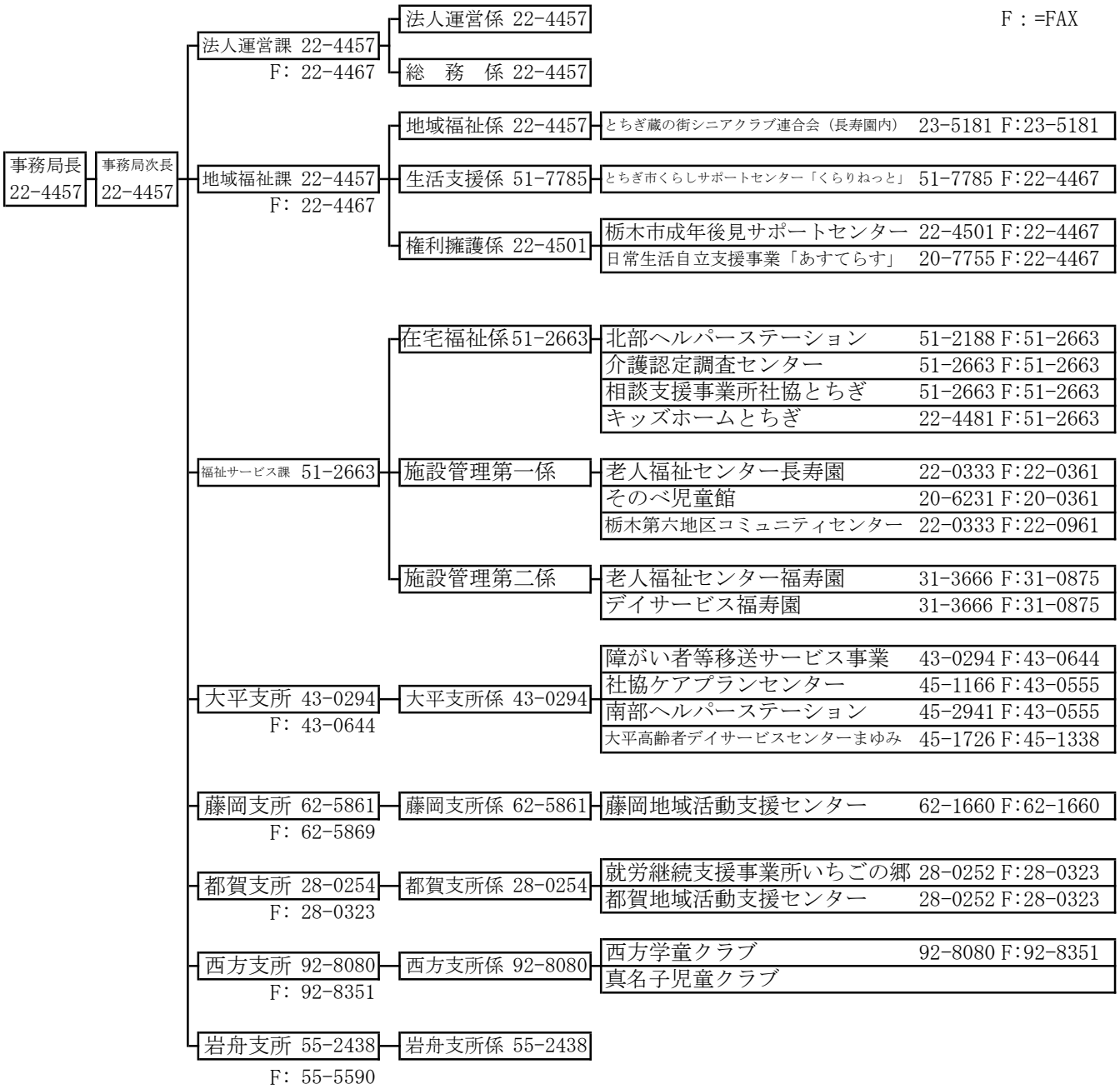
組　織

1　事務所の所在地
　栃木市今泉町２丁目１番４０号
　（大平支所：栃木市大平町真弓１３９６番地）　（藤岡支所：栃木市藤岡町藤岡８１０番地）
　（都賀支所：栃木市都賀町家中２３５７番地）　（西方支所：栃木市西方町元１６０１番地１）
　（岩舟支所：栃木市岩舟町三谷１０３８番地１）

2　名称及び代表者
　社会福祉法人　栃木市社会福祉協議会　会長　小林一成

3　役員及び職員等（令和５年４月１日現在）
　理事：１４名（うち、会長１名・副会長３名・常務理事１名）、監事：２名、評議員：２６名
　職員：１８９名（内、登録ヘルパー４２名）

F：=FAX



事業の概要

令和５年度については、コロナ禍の経験を糧に従来の運営体制の強化及び再構築が、始まりつつある年となった。

経営面では、介護保険事業や障害福祉サービス事業で収益の減退が顕著に現れている。しかしながら、経営安定化計画や職員適正配置・採用計画が機能することで、事務事業の整理及び組織のスリム化が促され、それに伴い事業費支出及び人件費支出が圧縮されるに至った。令和２年度より引き続き継続している経営改善プロジェクトチームや、各ワーキンググループの取り組みが結実し始めている。

また、新型コロナウイルスの脅威が徐々に治まりを見せるに伴い、訪問による募集活動に移行していく事が可能となったことから､本会への会費や寄附額が増加する等、市内の地域活動の活性化が伺えた年でもあった。

令和３年度以来となる正職員の新規採用や、本所の事務所移転に伴う物理的な各課の統合がなされる等、今後の円滑な会務運営を見据えた体制の整備が行われた。

1 住民による見守り支え合い活動への支援

（１）重層的支援体制整備事業・生活支援体制整備事業の実施　※受託

地域共生社会の実現と支え合いの地域づくりを進めるため、コミュニティ・ソーシャルワーカーと生活支援コーディネーターを配置し､参加支援事業の実施や地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みる環境の整備（地区懇談会の開催、協議体活動への支援）、担い手の育成などの取り組みを行った。

ア　参加支援事業の実施（地域福祉課）

プラン作成数　５人（新規プラン作成　１人）
実施回数　８３回
実参加人数　５人
延べ参加人数　１３２人
内　容　こども服の販売と仕分け作業、書類仕分け作業、季節の折り紙入りコーヒーセット作成、チケット・パンフレット作成、オリジナル雑巾・デコパージュ石鹸の作成、販売

イ　地区懇談会の開催（地域福祉課、各支所）

地域におけるニーズの把握、生活福祉課題の明確化を進めるとともに、地域住民同士の情報共有を促進することを目的に、各地区社協等に働きかけ、地区懇談会を開催した。

【開催実績】（計３１回、延べ参加人数１，０８５人）

開　催　日	地区社協等	テーマ	参加人数

令和５年 ５月 29 日(月)	吹上地区	認知症サポーター養成講座・交流会	３４人
６月８日（木）	大平地域	認知症講話チームオレンジ活動報告	１５０人
７月５日（水）	第七地区	市・市社協サービス紹介、理想的な生活と地域としてできると良いこと（事例検討・グループワーク）	２５人
７月 13 日(木) 14 日(金)	大宮地区	「地域での見守り・支えあい」地域包括支援センター及び社会福祉協議会の事業紹介	６１人
７月 20 日(木)	都賀地区	高齢者が安心して暮らしていける地域にするために	１９人
７月 27 日(木)	大平地域南地区	地域統計情報及び地区課題について 高齢者の居場所作りについて 居場所運営協力者について	２１人
８月１日（火）	国府地区	「地域での見守り・支えあいについて」 地域包括支援センターと社協のつながりを切らない取り組みについて	３０人
８月４日（金）	第五地区	市・市社協サービス紹介、理想的な生活と地域としてできると良いこと（事例検討・グループワーク）	４１人
８月７日（月）	第四地区	市・市社協サービス紹介、理想的な生活と地域としてできると良いこと（事例検討・グループワーク）	３３人
８月 24 日(木)	大平地域東地区	地域統計情報及び地区課題について 高齢者の居場所作りについて 居場所運営協力者について	１６人
９月２日（土）	第三地区	市・市社協サービス紹介、理想的な生活と地域としてできると良いこと（事例検討・グループワーク）	２５人
９月５日（火）	第一地区	市・市社協サービス紹介、理想的な生活と地域としてできると良いこと（事例検討・グループワーク）	３８人
９月 11 日(月)	国府地区・大宮地区介護・障がい福祉サービス事業所	研修・情報交換 「つながりワーカー」～地域での孤立に気づき、つながり、繋げ、見守る～	１３人
９月 13 日(水)	第六地区	市・市社協サービス紹介、理想的な生活と地域としてできると良いこと（事例検討・グループワーク）	３６人

9月28日(木)	大平地域西地区	地域統計情報及び地区課題について 高齢者の居場所作りについて 居場所運営協力者について	１４人
10月20日（金）	皆川地区	認知症認知症サポーター講座 高齢者の実情と課題について	２７人
10月20日（金）	西方地区	高齢者が地域で安心して生活できるために	２６人
11月2日（木）	藤岡地域	認知症講話「認知症の理解とかかわり～みんなで支えあうまちづくりを目指して～」 認知症の方とその家族が、安心して地域で暮らせる為には（グループワーク）	３３人
11月4日（土）	第二地区	市・市社協サービス紹介、理想的な生活と地域としてできると良いこと（事例検討・グループワーク）	２２人
11月20日（月）	吹上地区	認知症サポーター養成講座・交流会	２３人
11月27日（月）	西方地区	高齢者の支援について	２３人
12月8日（金）	大宮･国府地区	支え合いの地域づくり研修会	７４人
12月15日（金）	藤岡地域	高齢者を支えるための方法について考える。（グループワーク）	３１人
12月17日（日）	寺尾地区	寺尾ログカフェ（若い世代へのつながり等のアンケート調査）	７０人
令和6年 1月16日(火)	寺尾地区	「高齢者の孤立や孤独の問題、住民同士のつながりや支え合いの大切さについて」	３９人
1月25日(木)	都賀地区	地域のつながりを絶やさないために	２３人
2月16日(金)	第五地区	統計から見える五地区の特徴と緊急時の地域力、第五地区の良さについて（講義・グループワーク）	３８人
3月7日（木）	都賀地区	認知症を知ろう～認知症になっても安心して暮らせるまちに	３８人
3月12日(火)	寺尾地区	寺尾地区の社会資源のマッピング 「地域づくりは、つながりづくり、自分の地域のお宝を探そう」	３９人
3月15日(金)	吹上地区	「地域で支え合う認知症について」	２３人

ウ　協議体活動への支援（地域福祉課、大平支所、岩舟支所）

「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりの強化を図ることを目的に、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる協議体活動を支援した。

【各協議体の活動状況】

地域	活動の状況
大宮	第２層協議体 ・協議体会議（３回、延べ参加１０１人）
国府	第２層協議体 ・協議体会議（２回、延べ参加人数５９人）
大平	第２層協議体 ・協議体設立準備会の開催（1回、参加人数２０人） ・協議体会議（1回、参加人数３０人） ・男性介護者の会の開催（１０回、延べ参加人数６８人） ・福祉に関する相談会の開催（１０回、延べ参加人数１５４人） 第３層協議体（大平南地区） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数１１５人） 第３層協議体（大平東地区） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数１１９人） 第３層協議体（大平西地区） ・協議体会議（２回、延べ参加人数２６人）
岩舟	第２層協議体 ・協議体活動報告会の開催（１回、参加人数５７人） ・岩舟「我が事・丸ごと」ふくしまつりの開催（１回） ・協議体活動リーフレット作成（１回） 第３層協議体（静和） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数人２４０人） ・買物支援送迎サービス事業の実施（４２回） ・集い・ふれあい・ちょこっと相談の実施（３回） ・通学路現場点検の実施（３回） ・こども１１０番の家連携強化 ・ゴミ出し支援の検討（アンケートの実施） 第３層協議体（岩舟） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数２０９人） ・あいさつ運動の実施（５月～２月） ・見守りボランティア交流会の開催（１回） ・こども１１０番の家登録更新作業 ・行事や祭礼に関するローカルマップの発行（２回） ・ながら見守り活動の推進（チラシ発行１回） ・世代間交流事業の実施（サツマイモの苗植え、つる返し、収穫、モルック体験）（年３回）

	・広報紙「我が事・丸ごと」岩舟通信の発行（１回） 第３層協議体（小野寺南） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数１４５人） ・イエロータウン運動（三谷地域）の実施（毎週土曜日） ・買物支援送迎サービス事業の実施（１４回） ・モルック体験会の開催（３回） ・わがまるスポーツ交流会の開催（１回） ・わがまる通信の発行（２回） 第３層協議体（小野寺北） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数２３３人） ・小学校での認知症対応寸劇の実施（１回） ・ふるさと小野寺かるたの作成（完成） ・防災啓発チラシの発行（１回） その他（研修会等） ・４協議体リーダー等会議（２回、延べ参加人数２９人） ・岩舟会議（１回、参加人数１７人）

エ　地区社会福祉協議会への支援強化（地域福祉課、各支所）

地域の状況に応じた福祉活動（交流事業や見守り活動等）を推進している地区社会福祉協議会の運営費及び事業費への補助、事業実施に係る相談への対応、事務支援を行った。

オ　地区社会福祉協議会連絡会の開催（地域福祉課）

地区社会福祉協議会（１７地区）の組織強化や連携を深めることを目的に、地区社会福祉協議会連絡会を開催した。

開催日　　令和５年８月１０日（木）
場　所　　栃木保健福祉センター
内　容　　重層的支援体制整備事業の研修
　　各地区社協の活動状況の情報交換
参加人数　１６人

カ　地区社会福祉協議会役員研修会の開催（地域福祉課）

地域の福祉課題の把握や共通認識、地区社会福祉協議会役員の一層の意識向上を図ること、地域でのつながりの重要性を確認し、全世代に向けた地域づくりに関する視点を持つことを目的として研修会を開催した。

開催日　　令和６年２月７日（水）
場　所　　国府公民館
講　師　　ご近所福祉クリエーター 酒井 保 氏
内　容　　講演会「住民パワーで５年後、１０年後もおたがいを気に掛け合える地域に」
参加人数　８９人

キ　コミュニティカフェの開催（地域福祉課）

年齢や障がいの有無に関わらず、地域のあらゆる住民が自分らしく、それぞれに役割を持ちながら参加できる「地域共生社会」を目指し、地域住民の交流の場・相談の場を目的としたコミュニティカフェを開催した。

（ア）オレンジカフェ

開催回数　　１２回（毎月第３金曜日）
場　所　　ヤオハン城内店ふれ愛ひろば
内　容　　ミニ演奏会、語り部、脳トレ、介護等に関する勉強会等
延べ参加人数　４２９人

（イ）出張版オレンジカフェ（ヤオハン城内店以外での開催）

開催回数　　２３回
場　所　　大宮公民館、大宮市営住宅集会室
内　容　　認知症紙芝居、語り部、映画鑑賞、シナプソロジー
　　折り紙、コンサート等
延べ参加人数　４０６人

（ウ）オレンジカフェ　ＤＥ　ＴＯＣＨＩＣＯリサイクル

『ＴＯＣＨＩＣＯ日和』（とちぎに住むママのためのフリーペーパー）と共催し、子ども服のリサイクルや障がい者施設のパンの販売等を行った。また、子ども服の売り上げの半分は赤い羽根共同募金の寄附へとつながった。

開催回数　　１５回
場　所　　都賀支所、岩舟公民館、小江戸ひろば北蔵
内　容　　リサイクル・福祉施設による物品販売
延べ参加人数　９０３人
寄附総額　　１６２，７５０円

ク　地域のオレンジカフェ（認知症カフェ）への協力

（地域福祉課、大平支所、藤岡支所、都賀支所、西方支所）

認知症の人だけでなく、誰でも安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、地域の社会福祉法人等が開催するオレンジカフェへの協力（開催当日の運営協力等）を行った。

課支所名	回数	内容
地域福祉課	１６回	開催当日の運営協力、準備打合せ
大平支所	２４回	開催当日の運営協力
藤岡支所	１２回	開催に向けた準備・打ち合わせ、開催当日の運営協力
都賀支所	１１回	開催当日の運営協力
西方支所	５回	開催当日の運営協力

ケ　シニアの健康・福祉のイベント（大平支所）

地域で協働したイベントの企画、開催を通じ、地域主体の福祉活動の推進と継続した話し合いの場の構築を図ることを目的に、地域の福祉施設、地域住民、ボ

ランティア、地域包括支援センター、社協が協働してシニアの健康・福祉イベントを企画し、地域公民館で開催した。

開催日　　令和５年１１月３０日（木）
場　所　　大平西地区公民館
参加者数　５４人

コ　親子ふれあいサロンの開催（地域福祉課）

自宅では体験できない遊びや他の参加者・スタッフとの交流により、子育ての不安や悩みを話し合い、子育てを楽しみながらの仲間づくりを目的に、親子ふれあいサロンを開催した。

開催回数　　１１回
実参加人数　　６６人（親３２人、子３４人）
延べ参加人数　５６５人（親３２３人、子２４２人）

サ　会食会（サロン）の開催（藤岡支所）

地域の一人暮らし高齢者を対象に、ボランティアの協力を得て、レクリエーションや傾聴、会食等を行う会食会（サロン）を開催した。

開催回数　　１２回
延べ参加人数　１８１人
延べ協力人数　２５３人（送迎・運営・給食・傾聴ボランティア、講師等）

シ　地域福祉サポーター養成講座の開催（地域福祉課）

年齢や障がいの有無に関わらず、すべての地域住民が自分らしく、それぞれに役割を持ちながら、社会参加できる「地域共生社会」を目指し、地域福祉の担い手の育成を目的に、地域福祉サポーター養成講座を開催した。

（ア）地域福祉サポータースキルアップ研修

開催日　①令和５年１２月１８日（月）
　　②令和５年１２月２５日（月）
場　所　①栃木市市民交流センター
　　②岩舟公民館
講　師　全国コミュニティライフサポートセンター
　　理事長　池田昌弘 氏
内　容　地域における支えあいの基礎について（振り返り）、
　　自分の地域のお宝探しをして見えてきたものについて共有
　　街歩きワーク
参加人数　２４人

（イ）地域福祉サポータースタートアップ研修

開催日　令和６年３月６日（水）
場　所　栃木市市民交流センター
講　師　全国コミュニティライフサポートセンター
　　理事長　池田昌弘 氏
内　容　地域の支えあいの基礎について（講義）

つながりが元気な地域をつくる（事例紹介）
気にかけあう地域づくり～支え合う地域とは？（グループワーク）

参加人数　４１人

ス　チームオレンジへの支援（大平支所・西方支所）

認知症の方が安心して暮らし続けられる地域づくりを目指して活動しているチームオレンジの活動支援を行った。

大平支所　　支援回数　３８回
西方支所　　支援回数　１回

セ　ＶＲで認知症体験会の開催（大平支所）

地域力の向上及び認知症高齢者等の理解を深めることを目的に、ＶＲでの認知症体験会を開催した。

開催日　　令和６年３月１９日（火）
場　所　　ふるさとふれあい館
参加人数　３０人

ソ　地域サロン支援事業の実施（大平支所、都賀支所）

市民が中心となって開催する地域サロンの支援を目的に、レクリエーション機材の貸し出しや協力ボランティアの調整を行った。

（２）地域福祉への理解と関心を高める広報啓発活動

ア　広報紙の発行やホームページ・フェイスブックの運用（地域福祉課）

ふくぴーだよりの発行（年６回）やホームページ、フェイスブックを通し、本会の事務事業を始めとした福祉に関する情報を広く市民に提供した。

イ　マスコットキャラクターの貸出（地域福祉課）

本会の認知度を上げることを目的に、マスコットキャラクター「ふっくん・ぴーちゃん」を活用してイベントへの貸し出しを行った。

貸出件数　　２件
貸出先　　サマーフェスタＩＮいわふね２０２３
　　２０２３佐野市ふくしフェスタ

ウ　福祉功労者等表彰式の開催（法人運営課）

永年福祉活動に携わっている方等、福祉の向上に功績のあった方へ表彰状や感謝状の贈呈を行い、福祉意識の更なる高揚と啓発に努めた。

開催日　　令和６年３月１４日（木）
場　所　　栃木保健福祉センター
受賞者　　個人７４人
（民生委員児童委員１人、社会福祉施設団体等５３人、
ボランティア１９人、永年寄附１人）
団体１３団体
（優良団体３団体、大口寄附８団体、永年寄附２団体）

エ　各種イベントの開催、協力

福祉やボランティア活動に関する啓発活動、市民の交流を図ることを目的に、ふれあい福祉作品展の開催や福祉まつりの開催支援を行った。

（ア）ふれあい福祉作品展（大平支所）

開催日　　令和５年５月２７日（土）、２８日（日）
場　所　　ふるさとふれあい館
内　容　　ボランティア団体の活動紹介及びふれあい館利用団体作品展示

（イ）藤岡ふくしまつり（藤岡支所）

開催日　　令和５年１０月１５日（日）
場　所　　栃木市藤岡文化会館・藤岡公民館
内　容　　ボランティア団体による各種コーナー、バザー等

（ウ）岩舟「我が事・丸ごと」ふくしまつり（岩舟支所）

開催日　　令和５年１１月５日（日）
場　所　　ＣＩＴＹ　ＧＹＭ＆ＳＰＡ遊楽々館ユニバーサル広場
内　容　　各協議体・地域の各種団体によるブース出展（我が事・丸ごと事業ＰＲ、バザー、介護体験等の各種体験、飲食ブース等）、ステージイベント（園児のダンス、小野寺大判かるた大会等）等

（３）市民同士の活動の促進

ア　ふれあい在宅福祉サービス事業の実施（地域福祉課、各支所）

住民同士の助けあい活動を高齢者や障がい者等への在宅福祉サービスに結び付けた住民参加型の在宅福祉サービス事業を実施した。

登録者数	協力会員　９２人、利用会員	１１７人
派遣回数		１，１７６回
（内訳）	家事援助	８７７回
	身の回りの軽度の世話	４１回
	外出の付き添い	５０回
	留守番・話し相手	２５回
	買い物	１８３回

イ　福祉団体等の運営支援

（ア）とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会事務局（地域福祉課）※受託

シニアクラブ支部同士の円滑な運営と事業の推進を図るため、職員がとちぎ蔵の街シニアクラブ連合会の事務局業務に従事した。

（イ）福祉団体等の事務局及び活動支援（地域福祉課、各支所）

福祉団体の運営を支援するため、下記の福祉団体の事務局を担い、事務支援などを行った。

課支所名	団体名
地域福祉課	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会及び同栃木支部
大平支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会大平支部、栃木市身体障害者福祉

	会連合会大平支部、大平地区社会福祉協議会
藤岡支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会藤岡支部、栃木市身体障害者福祉会連合会藤岡支部、栃木市藤岡地域活動支援センター親の会、藤岡町給食ボランティアの会、藤岡地区社会福祉協議会、藤岡町傾聴ボランティア「ひだまり」
都賀支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会都賀支部、栃木市身体障害者福祉会連合会都賀支部、都賀町心身障害児者父母の会、傾聴ボランティア「かたつむりの会」、栃木市都賀手話サークル「スマイル」、都賀地区社会福祉協議会、いちごの郷・なかよし保護者会、読み聞かせボランティア「なかよし」、まちづくりネットワーク「つが」
西方支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会西方支部、西方町介護者の会、西方町ボランティア連絡協議会、一人暮らし高齢者の会、西方地区社会福祉協議会、西方地区社会福祉協議会真名子支部
岩舟支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会岩舟支部、栃木市身体障害者福祉会連合会岩舟支部、岩舟地区社会福祉協議会、岩舟町傾聴ボランティア「ぴーちゃん」

ウ　世代間交流事業の推進（地域福祉課）

児童と高齢者の世代間交流を推進するため、世代間交流事業を実施するシニアクラブを募り、事業実施の補助を行った。（１８団体）

エ　ふれあい交流事業の実施（地域福祉課）

障がいのある方もない方も一緒に交流することで、地域に住む人々が互いの理解を深め、助けあいの気持ちを育むことを目的に、交流事業を実施した。

実施日　　令和５年１２月９日（土）
場　所　　栃木市内（栃木市役所周辺）
内　容　　街並みウォーキング
参加人数　４９人（参加者３９人、高校生ボランティア９人、中学生ボランティア１人）

オ　地区社協等のいきがいサロン、子育てサロンへの補助

（ア）いきがいサロン事業の推進（地域福祉課）

一人暮らし高齢者等の引きこもり防止や生きがいづくりを目的に、いきがいサロン事業を実施する地区社会福祉協議会への補助を行った。（６団体）

（イ）子育てサロン事業の推進（地域福祉課）

子育て家庭の親子の交流や育児に関する情報交換、仲間づくりを行う場の提供など、育児に対する不安の解消を目的に、子育てサロン事業を実施する地区社会福祉協議会への補助を行った。（１団体）

カ　弁当宅配（給食）サービスの実施（大平支所）

地域の見守りが必要な高齢者世帯を対象に、民生委員児童委員・ボランティアの協力を得て、弁当の調理と宅配を実施した。

実施回数　　１２回

実利用人数　５３人

述べ配食数　５２５食

キ　点字本宅配サービス事業の実施（地域福祉課）

視力障がい者の情報収集に資するため、点字ボランティアの協力を得て、点字本の宅配サービスを実施した。

実施回数　　１２回

貸出冊数　　３６冊

ク　マイクロバスの貸出（地域福祉課）

福祉団体等の活動を支援することを目的に、本会が所有するマイクロバスの貸し出しを行った。（貸出回数　３１回）

（４）福祉サービスの提供

ア　児童関係

（ア）放課後児童健全育成事業の実施（西方支所）※受託

放課後児童の健全育成と保護者の就労支援を目的に、西方児童クラブ・第２西方児童クラブ・真名子児童クラブを運営した。

	西方 児童クラブ	第２西方 児童クラブ	真名子 児童クラブ	計
開　設　日	月～土（祝日、年末年始除く）			－
開設日数	２６２日	２５１日	２５１日	－
実利用人数	３７人	５１人	１７人	１０５人
延べ利用人数	６，１３３人	６，３７８人	２，７２２人	１５，２３３人

（イ）障がい児サロンの開催（福祉サービス課）

障がい児を持つ家庭が抱える子育ての相談や指導を行うとともに、保護者同士の情報交換や親子の仲間づくりの場を提供することを目的に、キッズホームで障がい児子育てサロン（音楽療法等）を開催した。

開催回数　　１２回

実参加人数　　４８人(大人２８人、子ども２０人)

延べ参加人数　２０４人(大人１０４人、子ども１００人)

講　師　　音楽療法士　　関根雅子氏

ふじおかおはなし会「コロポックル」

ボランティア１人

（ウ）心理相談の実施（福祉サービス課）

子どもの発達に関する保護者の不安や悩みなどに対し、専門家の相談・助言の機会として、臨床心理士による心理相談を実施した。

実施回数　　６回

実参加人数　１６人（親子８組）

相談員　　臨床心理士　小竹利夫氏

イ　高齢者関係

（ア）車椅子貸出事業の実施（地域福祉課、各支所）

車いすを必要とする方の屋内外移動の負担軽減を図ることを目的に、車いすの貸し出しを行った。

	地域福祉課	大平支所	藤岡支所	都賀支所	西方支所	岩舟支所	計
貸出回数	９３	１０７	４４	１８	３３	４０	３３５

（イ）車椅子移送車貸出事業の実施（地域福祉課、各支所）

車いすを利用する高齢者や身体障がい児者の外出時（通院、通所、外出等）の負担軽減を図ることを目的に、車いすのまま乗降できる車両の貸し出し（燃料費のみ実費負担）を行った。

（計３５１回、実利用人数１１７人）

課支所名	貸出回数	貸出日数	実利用人数
地域福祉課	７６回	１３２日	２８人
大平支所	８６回	１５７日	３１人
藤岡支所	５５回	９８日	１７人
都賀支所	８６回	１２５日	２３人
西方支所	３３回	４４日	９人
岩舟支所	１５回	４１日	９人

（ウ）地域包括支援センター運営協力業務の実施（法人運営課）※受託

職員５人（社会福祉士３人、介護支援専門員２人）が、栃木市内の地域包括支援センターの業務に従事した。

ウ　障がい者関係

（ア）障がい者等移送サービス事業の実施（大平支所）

公共交通機関の利用が困難な方を対象に、車いすやストレッチャーの使用等による市外の医療機関への通院、入院等の移送サービスを実施した。

運行日数　　１９２日
実利用人数　　６２人
利用回数　　６９２回

（イ）栃木市障がい児者相談支援センター事業の実施（法人運営課）※受託

障がい者相談支援専門員として職員２人が、栃木市障がい児者相談支援センターの業務に従事した。

（ウ）障がい者等移動支援事業の実施（福祉サービス課、大平支所）※受託

屋外での移動が困難な障がい者等を対象に、自立生活及び社会参加促進のため、ホームヘルパーによる外出支援を実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	１人	１人	２人
派遣回数	４８回	３７回	８５回

派遣時間	４８時間	２０時間	６８時間

エ　その他

（ア）法律相談の実施（弁護士）（大平支所）

法律問題に関する市民の相談に対し、専門家である弁護士が助言等を行った。

実施日　　毎月第１、第３火曜日（午前９時から正午）

場　所　　ふるさとふれあい館

相談件数　１０９件

【相談内訳】

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
不動産（土地等）	１５件	金銭トラブル	２６件	家族	５件
相続	２４件	離婚	１０件	近隣トラブル	７件
事故	６件	職業・生業	７件	その他	９件

（イ）産前産後ヘルパー派遣事業の実施（福祉サービス課）※受託

日中、家事及び育児を行う者が他にいない妊婦等に対して、ホームヘルパーを派遣して、家事や育児の支援を実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	７人	１人	４人
派遣回数	１１３回	７回	１２０回
派遣時間	１３６時間	７時間	１４３時間

（５）栃木市地域福祉活動計画の推進（地域福祉課）

地域福祉活動計画を円滑に推進することを目的に、行政とともに栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進懇談会を令和５年７月４日（火）に開催し、当該計画の進捗管理および評価を行った。

2 ボランティア活動への参加促進と支援

（１）ボランティアセンターの運営

ア　ボランティアの相談・登録（地域福祉課、各支所）

より多くの市民が気軽にボランティア活動へ参加できるようにするため、ボランティアの発掘、育成等の基盤づくり、ボランティアに関する相談等を行った。

相談件数　　１３３件（内訳：活動希望者による相談４２件、協力依頼者による相談５５件、その他３６件）

登録数　　個人　１２０人

団体　１８９団体

イ　ボランティア保険への加入促進（地域福祉課、各支所）

ボランティア活動中のケガや賠償責任を補償するボランティア活　動保険、及びボランティアグループや福祉団体の行事中の事故を補償するボランティア行事用保険を受け付けた。

加入数

ボランティア活動保険　団体：９１団体（２，２６６人）
個人：３１人
ボランティア行事保険　１６７件

（２）人材育成

ア　手話講座の開催

（ア）手話奉仕員養成講座の開催（地域福祉課）

聴覚に障がいのある方へ情報を手話で伝えるボランティアの養成と障がい者への理解を深めることを目的に、手話奉仕員養成講座（手話講座昼の部）を開催した。

開催期間　令和５年４月１９日（水）～令和６年３月１３日（水）毎週水曜日（全４５回）
場　所　栃木保健福祉センター
受講人数　１０人

（イ）手話のミニ講座の開催（地域福祉課）

福祉やボランティア活動への関心と理解を高めることを目的に、聴覚に障がいのある方の情報伝達手段のひとつである手話のミニ講座（手話講座夜の部）を開催した。

開催回数　１０回
場　所　栃木保健福祉センター、関東ホーチキにしかた体育館
延べ受講人数　４７人

イ　ふれあい在宅福祉サービス協力会員研修会の開催（地域福祉課）

ふれあい在宅福祉サービスについての理解や関心を高め、参加活動を推進するとともに、協力会員の増加にもつなげることを目的に、協力会員を対象とした研修会を開催した。

開催日　令和５年１１月１０日（金）
場　所　栃木保健福祉センター
講　師　（株）アベニュー　阿部幸央 氏・三川清美 氏
内　容　掃除の基本を学ぶ「お掃除講座」
参加人数　２８人

ウ　運転ボランティア養成研修会の開催（岩舟支所）

運転ボランティアの人材を育成するとともに、安全・安心に移動手段の確保という地域の福祉課題に取り組むことができるよう、運転ボランティアに必要な知識と技術を習得するための研修会を開催した。

開催日　令和６年３月１１日（月）
場　所　栃木自動車教習所
内　容　住民共助の役割、安全運転の基本、車両の運転等
参加人数　８人

エ　人権（介護）講演会の開催（地域福祉課）

不登校の子どもに関する理解と認識を深め、市民の人権意識の醸成を図ることを目的に、市人権・男女共同参画課との共催で人権講演会を開催した。

開催日　　令和６年２月２８日（水）
場　所　　栃木保健福祉センター
講　師　　NPO法人人権センターとちぎ　本郷順一 氏
内　容　　不登校の子どもの現状と地域で支えること
参加人数　３０人

オ　栃木市民特別講座「まちぐるみで認知症高齢者を支える」の開催（地域福祉課）

認知症高齢者を支える取り組みの事例や、認知症に関する啓発を目的に、市地域包括ケア推進課、栃木市特別養護老人ホーム・養護老人ホーム連絡協議会との共催で、栃木市民特別講座「まちぐるみで認知症高齢者を支える」を開催した。

開催日　令和５年９月２３日（土）
場　所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）小ホール
内　容　基調講演
「どうする？コロナ後の地域社会との関わりについて」
講　師　獨協医科大学脳神経内科　渡邉由佳 氏
事例報告
「大平地域における認知症高齢者等声掛け模擬訓練の実施状況について」
報告者　認知症高齢者声掛け模擬訓練実行委員会
参加人数　２５０人

カ　実習生の受け入れ（地域福祉課、福祉サービス課）

将来、社会福祉等の専門職として活躍する人材育成の一助として、社会福祉士等の実習生を受け入れた。

学校名等	実習期間（実習日数）	受入人数	担当部署
佐野日本大学	令和5年8月17日～9月19日（23日）	１人	地域福祉課
帝京科学大学	令和5年8月17日～9月20日（26日）	１人	地域福祉課
日本社会事業大学	令和5年10月12日～10月27日（5日）	１人	地域福祉課
國學院大學	令和5年 9月13日～ 9月28日(11日)	１人	キッズホームとちぎ
栃木市生活サポーター養成講座	令和5年10月2日～令和6年2月5日(3日)	３人	北部ヘルパーステーション
	令和5年10月2日～令和6年2月8日(3日)	３人	南部ヘルパーステーション
居宅介護支援専	令和6年1月31日～2月16日（3日）	１人	社協ケアプ

門員実務者研修実習			ランセンター

キ　ふくしミニ体験講座の開催（地域福祉課、各支所）

ボランティアを始めたいと思っている方や興味のある方等を対象に、各ミニ講座の体験を通してボランティア活動や福祉に対する関心と理解を高めることを目的として開催した。

講座名	開催日	受講人数	担当部署
はじめての点字講座	令和６年２月２２日（木）	４人	地域福祉課 藤岡支所
コミュニケーション力UPセミナー	令和６年２月２０日（火）	１２人	大平支所
	令和６年２月２９日（木）	１３人	西方支所
読み聞かせボランティア勉強会	令和６年２月１５日（木）	７人	岩舟支所
	令和６年２月２６日（月）	２３人	都賀支所

（３）福祉団体・ボランティア団体等活動支援

ア　福祉団体・ボランティア団体等への補助

地域における福祉活動の推進を図るため、市内の福祉団体・ボランティア団体の活動に対する補助を行った。（４５団体）

イ　ＬＲＴに関する交通ルール教室の開催（都賀支所）

障がい者の方の社会参加活動を安全に実施していただけるよう、障がい者団体の活動支援の一環として、宇都宮ＬＲＴ導入後の新しい交通ルールについての教室を開催した。

開催回数　　２回

延べ参加人数　４６人

（４）収集ボランティア運動の実施

ア　エコキャップ回収運動の実施（大平支所、藤岡支所、西方支所、岩舟支所）

世界の子ども達のためのワクチン購入にエコキャップを活用している団体への寄贈や、ボランティア団体の活動支援などにエコキャップを活用するため、回収運動を実施した。

回収量　　３７１，１００個

イ　アルミ缶回収運動の実施（西方支所）

西方支所でアルミ缶を１６０ｋｇ回収し、その収益金を西方町ボランティア連絡協議会が実施する福祉事業に活用した。

ウ　入れ歯回収ボックスの設置（地域福祉課）

入れ歯に含まれている貴金属のリサイクル収益金を、世界の恵まれない子ども達の支援に活用していただくため、市役所本庁舎、栃木保健福祉センター、本会

各支所、各老人福祉センターにＮＰＯ法人日本入れ歯リサイクル協会の回収ボックスを設置した。

回収数　　２０個

（５）被災地支援及び災害時支援体制強化

ア　栃木市災害ボランティア支援委員会の開催（地域福祉課）

災害時に被災者支援、被災地復旧・復興を迅速かつ効果的に行なうため、栃木市災害ボランティア支援委員会を開催した。

開催日　　令和５年１１月１６日（木）
場　所　　栃木保健福祉センター
協議内容　栃木市災害ボランティアセンター運営サポーター養成研修について
災害ボランティアセンターの設置場所や資機材の保管場所についての協議・検討
参加人数　１１人

イ　災害ボランティアセンター運営サポーター養成研修の開催（地域福祉課）

地域における災害ボランティア活動への理解や意識醸成を図り、災害ボランティアセンター運営を地域で支える人材を増やすとともに、普段からの助け合いやつながりづくりの促進を目指すことを目的に、開催した。

開催日　　令和６年２月４日（日）
場　所　　栃木保健福祉センター
講　師　　Ｎｕｋｉｉｔｏ代表　髙山弘毅　氏
内　容　　災害ボランティアセンターの仕組みと被災者のおかれている状況について（講義）、災害ボランティアセンター運営訓練（実技）
参加人数　３２人

ウ　職員の派遣（地域福祉課）

各関係機関との派遣協定等に基づき、職員を被災地に派遣した。

関係機関名	派遣期間	内容	派遣人数	派遣場所
災害ボランティア活動支援プロジェクト会議	１０月９日（月）～１３日（金）	災害ボランティアセンターの活動支援	１人	福島県いわき市
	【１回目】２月９日（金）～１５日（木）		１人	石川県能登町
	【２回目】３月１５日（金）～２１日（木）		１人	

栃木県災害福祉支援チーム	３月２４日（日）～２９日（金）	避難所支援と避難者状況の調査	１人	石川県輪島市

エ　災害ボランティアバスの運行（地域福祉課）

令和５年９月８日（金）の台風１３号により被災した福島県いわき市の支援を行うため、ボランティアバスを運行した。

実施日　　令和５年９月２９日（金）
場　所　　いわき市災害ボランティアセンター
内　容　　災害ごみの撤去や被災住宅からの家具の運び出し等
参加者数　１０人

オ　防災訓練の協力（地域福祉課）

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化、並びに職員の災害応急対策の迅速化を図るために実施された栃木市総合防災訓練に参加協力した。

実施日　　令和５年１１月２５日（土）
場　所　　栃木市岩舟総合運動場
内　容　　災害ボランティアセンターの運営訓練

3 学校や地域における福祉教育の推進

（１）小・中学校福祉授業等への職員等の派遣や体験活動の受け入れ（地域福祉課、各支所）

市内小･中学校等からの福祉やボランティア活動に関する授業実施の相談や地域からの福祉講座実施の相談に応じ､職員やボランティアグループ等の講師派遣、体験活動の受け入れを行った。

ア　小中学校等への派遣（５２件）

派遣日	派遣先学校名等	派遣の内容
令和５年 ６月　２日（金）	栃木南小学校（４年）	赤い羽根共同募金について
６月１４日（水）	大宮南小学校(3.4年)	車いす体験
６月１５日（木）	栃木南小学校（４年）	点字体験
６月２３日（金）	栃木南小学校（４年）	手話
９月　４日（月）	大宮南小学校(3.4年)	盲導犬ユーザーさんのお話
９月　４日（月）	寺尾小学校　（４年）	社会福祉協議会とは
９月　７日（木）	国府北小学校（５年）	盲導犬ユーザーさんのお話 ボッチャ体験
９月１１日（月）	国府北小学校（５年）	車いす体験、点字体験
９月１２日（火）	大宮北小学校（４年）	社会福祉協議会とは 赤い羽根共同募金について
９月１３日（水）	大宮北小学校（４年）	点字体験
９月１５日（金）	千塚小学校　（４年）	社会福祉協議会とは

		盲導犬ユーザーさんのお話
９月２０日（水）	大宮北小学校（４年）	点字体験
９月２２日（金）	真名子小学校（４年）	車椅子体験
９月２９日（金）	真名子小学校（４年）	認知症紙芝居
１０月　２日（月）	栃木第五小学校(４年)	バリアフリーについて、車いす体験
１０月　６日（金）	大宮南小学校(3.4年)	手話
１０月１１日（水）	大宮北小学校（４年）	手話
１０月１３日（金）	千塚小学校　（４年）	手話
１０月１８日（水）	三鴨小学校　（４年）	手話体験、点字体験
１０月２０日（金）	栃木第五小学校(４年)	手話
１０月２３日（月）	栃木第五小学校(４年)	点字体験
１０月２３日（月）	三鴨小学校　（４年）	車いす体験、視覚障がい者体験
１０月２５日（水）	栃木第五小学校(４年)	点字体験
１０月２７日（金）	大宮北小学校（４年）	盲導犬ユーザーさんのお話
１０月２７日（金）	千塚小学校　（４年）	点字体験
１０月２７日（金）	小野寺小学校（４年）	手話体験、ろう者の生活（お話）
１０月２７日（金）	真名子小学校（４年）	高齢者との交流
１１月　８日（水）	藤岡小学校　（６年）	地域で活躍するボランティアさんのお話
１１月１０日（金）	千塚小学校　（４年）	福祉用具見学・体験、介護の話
１１月１０日（金）	藤岡小学校　（６年）	福祉活動体験（高齢者スポーツ大会参加）
１１月１３日（月）	藤岡小学校　（６年）	福祉活動体験（高齢者会食会（サロン）参加）
１１月１３日（月）	部屋小学校　（４年）	手話体験
１１月１７日（金）	栃木第五小学校(４年)	盲導犬ユーザーさんのお話
１１月１７日（金）	大平中央小学校(５年)	高齢者疑似体験
１１月２０日（月）	部屋小学校　（４年）	点字体験
１１月２１日（火）	西方中学校　（１年）	認知症紙芝居
１１月２４日（金）	栃木第四小学校(４年)	バリアフリーについて、車いす体験
１２月　１日（金）	千塚小学校　（４年）	シニアクラブとの交流
１２月　６日（水）	藤岡中学校　（２年）	高齢者疑似体験、視覚障がい者体験、点字体験
１２月　７日（木）	部屋小学校　（４年）	車いす体験、視覚障がい者体験
１２月　８日（金）	藤岡中学校　（２年）	高齢者疑似体験、視覚障がい者体験、点字体験
１２月１３日（水）	大平東小学校（４年）	盲導犬ユーザーさんのお話
１２月１８日（月）	赤麻小学校　（４年）	点字体験

１２月２１日（木）	赤麻小学校　（４年）	車椅子体験
令和６年 １月１１日（木）	西方中学校　（１年）	障がい者の理解
１月１８日（木）	西方中学校　（１年）	赤い羽根共同募金について
２月　２日（金）	大宮北小学校（４年）	福祉用具見学・体験、介護の話
２月　５日（月）	小野寺小学校（６年）	認知症寸劇
２月　８日（木）	大平中央小学校(４年)	アイマスク体験
２月　９日（金）	藤岡小学校　（４年）	車椅子体験、アイマスク体験
２月１５日（木）	大平中央小学校(４年)	点字体験
２月１６日（金）	藤岡小学校　（４年）	手話体験、点字体験

イ　学校以外への派遣（６件）

派遣日	派遣先	派遣の内容
令和５年 ５月１９日(金)	シルバー大学南校	ボランティアについて
１０月２６日(木)	上地区さくら会	認知症紙芝居「認知症の予防」
１２月　３日(日)	大平図書館	車椅子体験
１２月１５日(金)	ちーむわがまる	認知症紙芝居「認知症の予防」
令和６年 ２月２０日(火)	小野寺下地区社会福祉協議会	支え合い体験ゲームを通じて考える「岩舟我が事・丸ごと事業」
２月２８日(水)	はつらつセンター花水木	認知症紙芝居「認知症の予防」

（２）児童、生徒のための福祉講座の開催（地域福祉課、各支所）

夏休みを利用して、福祉やボランティア活動に対する子どもたちの理解と関心を高めることを目的に、サマーボランティアスクールを開催した。

会場	開催日	内容	参加人数	場所
中央	7月27日（木） 28日（金）	【１日目】 カンセキスタジアム、ひのきの杜（社会福祉法人すぎのこ会）見学 【２日目】 盲導犬ユーザーとの交流と点字体験	５３人	【１日目】 宇都宮市、栃木市（岩舟町）方面 【２日目】 栃木保健福祉センター
南部	8月9日（水） 10日（木）	【１日目】 車いす体験、アイマスク体験点字体験 【２日目】 バリアフリー施設見学	２５人	【１日目】 ふるさとふれあい館 【２日目】 宇都宮市カンセキ

				スタジアム
北部	8月3日（木） 4日（金）	【1日目】 障がい者スポーツ教室、福祉機器体験及び見学 【2日目】 カンセキスタジアム、障害者スポーツセンターの見学	7人	【1日目】 都賀南部コミュニティセンター 東京インテリアMS栃木店 【2日目】 宇都宮市方面

（3）蔵の街高校生ボランティアスクールの開催（地域福祉課）

市内の公共施設、社会福祉施設などでのボランティア活動を通じて、高校生の地域やまちづくりへの関心を高めることを目的に、栃木市・市民活動推進センターくららと共催で蔵の街高校生ボランティアスクールを開催した。

開催日　　令和5年8月1日（火）
場　所　　栃木市市民交流センター
参加人数　64人

（4）福祉教育推進事業の実施（地域福祉課、各支所）

ボランティア活動等の体験を通して、社会福祉への理解と関心を高め、社会参加や社会連携の精神を養うとともに、地域社会・学校・家庭が連携して、地域に密着した福祉教育の推進を図るため、市内小中学校及び高等学校等が実施する福祉教育等の活動経費に対する補助を行った。（幼保4園、小学校22校、中学校4校、高校5校）

（5）福祉体験機器等の貸出（地域福祉課、各支所）

福祉教育を推進するため、学校や施設に対し、各種福祉体験機器等の貸し出しを行った。（点字盤の貸出　9件）

4 生活困窮者への支援及び成年後見事業の実施

（1）生活困窮者に対する支援の推進

ア　生活困窮者自立支援事業の実施（地域福祉課）※受託

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却し、社会的・経済的に自立することを目的に、支援対象者の個々の状態に応じた包括的な相談支援事業を実施した。

（ア）支援調整会議の開催

本会とちぎ市くらしサポートセンターが作成する支援計画の内容の検証や関係機関及び関係者等の連絡調整並びに事後評価等の検証等を行うことを目的に、支援調整会議を、年11回開催した。

（イ）自立相談支援事業（必須事業）

新規相談受付件数　261件

プラン作成件数　１３件
相談内容　自立相談支援、家計相談、学習支援、
一時生活支援、住宅確保給付金

（ウ）学習支援事業（任意事業）

生活困窮等の理由から学習環境に課題のある世帯の小・中学生を対象に、学校授業の補習、進学のための学習や進路相談などを実施した。

a　短期集中型学習サポート塾（小中学生対象。夏、冬休み期間）

○夏休み期間
実施期間　令和５年８月２日（水）～４日（金）、７日（月）、
８日（火）
場　所　栃木会場：栃木保健福祉センター
大平会場：大平公民館
参加人数（両会場）
小学５・６年生：登録者　９人、延べ参加人数　３４人
中学１・２年生：登録者１７人、延べ参加人数　４１人
中学　３年生：登録者１９人、延べ参加人数　６４人
計　：登録者４５人、延べ参加人数１３９人

○冬休み期間
実施期間　令和５年１２月２６日（火）～２８日（木）
場　所　栃木保健福祉センター
参加人数　小学５・６年生：登録者　６人、延べ参加人数　１２人
中学１・２年生：登録者　９人、延べ参加人数　２０人
中学　３年生：登録者１６人、延べ参加人数　４２人
計　：登録者３１人、延べ参加人数　７４人

b　通所学習（中学生対象）

実施期間　令和５年６月３日（土）～令和６年３月９日（土）
毎週土曜日（計３９日）
場　所　栃木会場：栃木保健福祉センター
大平会場：ふるさとふれあい館
参加人数（両会場）
中学１・２年生：登録者２２人、延べ参加人数２４９人
中学　３年生：登録者２９人、延べ参加人数５４３人
計　：登録者５１人、延べ参加人数７９２人

c　通信学習（小中学生対象）

実施期間　令和５年６月３日（土）～令和６年３月９日（土）
毎週土曜日（計３９日）
参加人数　通信教育のみ：５２人（小学生３１人、中学生２１人）
通信学習と通所学習の併用：７人（中学生）

（エ）学習支援事業参加者や卒業生への社会参加支援

学習支援事業参加者と卒業生に対し、地域イベント等でのボランティア募集を周知し、ボランティア活動に参加することで、社会参加を図った。

卒業生のボランティア登録者数　５人

延べ参加人数　　５人

内　容　　地域イベント当日の運営ボランティア

（オ）家計改善支援事業の実施（任意事業）

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ､家計状況を明　らかにした上で、生活再生に向けた意欲を引き出し、家計の視点から必要な情報提供や専門的助言・支援等を行うことにより家計を管理する力を高め、早期に生活を再生することを目的に、家計相談支援事業を実施した。

プラン作成人数　２件

相談件数　　４４件

（カ）就労準備支援事業の実施（任意事業）

被保護者又は経済的困窮の状態にある者であって、一般就労が困難な者に対し、生活習慣の形成のための指導・訓練、就労の前段階として必要な社会的能力の習得及び就労体験や、一般就労のための就職活動の技法や知識の取得支援などを実施し、基礎能力を身につけることで安定的な就労に就き、経済的困窮状態から脱却を図ることを目的に、就労準備支援事業を実施した。

相談件数　　１２件

プラン作成件数　４件

（キ）栃木市フードバンク事業の実施

食品ロス削減と地域福祉の増進に資するため、安全に食べることができるにもかかわらず廃棄されてしまう食品及び市場に流通できない食品を個人、法人及び団体から無償で受け入れ、食糧支援が必要な者、各支援団体や福祉施設等に対し、包括的な相談支援を実施する中で、栃木市フードバンク事業を実施した。

食品受け入れ件数　　２５８件

日用品等受入れ件数　４７件

（ク）事業啓発等の実施

地域課題の共有及び担い手の育成を図ることを目的に､イベント等に参加し、市内子育て団体及び地域住民等に対して､生活困窮者自立支援事業啓発のための周知活動等を実施した。

実施回数　　３回

（ケ）くらしサポート事業（旧事業名：緊急一時食糧支援事業）の実施

貸付相談等において､生命の維持や自立に向かうために一時的な食糧支援が必要と判断される方に対し、米や缶詰等の食糧を支給した。また、米の配付を必要とする学習支援事業参加者の世帯に対し、米の配布を行った。

支援件数　　６０１件

支援物品　　米、缶詰、乾麺、レトルト食品、アルファ米等

イ　各種資金の貸し付け・相談（地域福祉課、各支所）

（ア）生活福祉資金の貸付※受託

栃木県社会福祉協議会が低所得者、障がい者、高齢者に対し、各種資金の貸し付けを行う生活福祉資金の窓口として、民生委員児童委員と連携し、申請に必要な支援等を行った。

【新規貸付実績】

資金の種類	件数	金　額
福祉資金（緊急小口資金）	１件	１００，０００円
教育支援資金（就学支度費）	２件	８３６，０００円
教育支援資金（教育支援費）	１件	４３２，０００円

（イ）緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援

新型コロナウイルス感染症の影響による緊急的な生活資金の貸付として令和２年４月から令和４年９月に実施された緊急小口資金等の特例貸付を受けた借受人に対し､償還に関する相談対応等､以下のフォローアップ支援を開始した。

ａ　償還免除を行った借受人へのフォローアップ支援

・訪問、架電等による生活状況の把握

・自立相談支援機関の支援を希望する場合、自立相談機関への借受人に関する情報の提供

ｂ　償還免除申請に未応答の借受人へのフォローアップ支援

・訪問、架電等による償還免除申請の勧奨や申請書の作成支援

・借受人の生活状況を踏まえた償還猶予や少額返済の案内

ｃ　償還免除に至らないものの償還が困難な借受人へのフォローアップ支援

・借受人の生活状況を踏まえた償還猶予や少額返済の案内

・償還猶予、償還計画変更、少額返済の受付及び意見書の作成

・訪問、架電等による生活状況の把握

・自立相談支援機関との連携による生活再建に向けた支援

・償還猶予期間中の借受人への支援

ｄ　その他

・相談希望の確認アンケートの実施

実施時期　償還猶予中借受人　令和５年９月

令和６年１月償還開始借受人　令和６年１月

上記以外の借受人　令和６年３月

借受人総世帯数　２，０９３世帯

アンケート送付数　２，０１８世帯

（９月実施：４８世帯１月実施：３８２世帯、１月実施１，５８８世帯）

返信世帯数　１０４世帯（５．２％）

（９月実施：２７世帯、１月実施：２９世帯、３月実施：７５世帯）

無反応世帯数　　１，２８６世帯（６３．７％）

（9月実施：２１世帯、1月実施：２５３世帯、3月実施：１，０１２世帯）

住所不明世帯数　　６２８世帯（３１．１％）

（９月実施：０世帯、１月実施：１００世帯、３月実施：５２８世帯）

・令和５年度償還免除者・償還猶予者の状況

貸付種類	償還免除者	償還猶予者
緊急小口資金特例貸付	４７０件	１０４件
総合支援資金特例貸付	３９３件	９６件
総合支援資金（延長）特例貸付	６７件	０件

（ウ）社会福祉金庫の貸付

生活保護が開始されるまでの間の生計の維持が困難な世帯、生活保護世帯で、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難になった世帯に対し、生活一時金の貸し付けを行い、生活安定の支援を図った。

令和５年度貸付金　　４０件　　７８６，５００円

令和５年度償還金　　５０件　　８３６，５００円

（償還金内訳）※分割償還含むため償還件数が超過する。

過年度貸付分　　８件　　１５０，０００円

令和５年度貸付分　４２件　　６８６，５００円

（エ）高額療養費の貸付

高額療養費を貸し付けることにより、療養者世帯の生活安定の助長を図った。

令和５年度貸付金　　２１件　４，２７９，０００円

令和５年度償還金　　２２件　５，００７，０００円

（償還金内訳）

過年度貸付分　　１０件　２，８０８，０００円

令和５年度貸付分　１２件　２，１９９，０００円

（２）権利擁護事業などの推進

ア　法人後見事業の実施（地域福祉課）

親族や専門職による後見人が得られにくい方に対し、家庭裁判所の審判を経て、本会が法人として成年後見人等を受任した。

受任件数　８件（うち新規１件、年度中終了１件）

（類型内訳）

後　見　　６件（高齢者４件、知的障がい者１件、精神障がい者１件）

保　佐　　１件（高齢者１件）

監督人　　１件（知的障がい者１件）

（ア）法人後見運営委員会の開催

法人後見業務の実施にあたり、受任の適否の判断、後見業務の指導を行い、適正な後見業務を行うため、学識経験者や行政職員で構成される法人後見運営委員会を、年３回開催した。

（イ）法人後見ケース検討会議の開催

法人後見業務の実施にあたり、受任の適否、後見業務の検討を行い、適正な後見業務を行うため、学識経験者、地域包括支援センター、障がい児者相談支援センター、あすてらす・とちぎ等の関係機関の担当者とケース検討会議を、年４回開催した。

イ　権利擁護・成年後見支援センター事業の実施（地域福祉課）※受託

（ア）成年後見制度に関する相談・利用支援

認知症の高齢者や障がい等で、判断能力が十分でない方の権利を擁護するとともに、成年後見制度の利用促進を図ることで、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことを目的に、相談窓口を設置し、助言、情報提供を行った。

相談人数　　１２３人

相談延べ件数　２２４件

【相談内訳】

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
法定後見関係	49件	任意後見関係	4件	法人後見関係	5件
申立て相談等	5件	あすてらす関係	16件	相続・遺言・終活	9件
親族後見等相談	0件	専門職への相談	34件	その他	102件

（イ）司法書士専門相談

法律問題に関する市民の相談に対し、専門家である司法書士が助言等を行った。

実施日　　毎月第２火曜日　午前９時３０分～午前１１時３０分

場　所　　栃木保健福祉センター

相談人数　　３０人

相談延べ件数　３０件

【相談内訳】

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
成年後見制度	0件	多重債務	1件	売買	0件
贈与	0件	相続	21件	財産分与	0件
遺言	1件	その他	6件	借地借家	1件

（ウ）成年後見制度に関わる広報及び啓発

ａ　成年後見制度・市民後見人啓発事業

講演会の開催

開催日　令和５年９月１６日（土）

演　題　とちぎ初　市民後見人

～地域共生社会の担い手として～

Ⅰ部　基調講演「後見人の原点・市民後見人」

全国地域生活支援機構副代表理事　尾川宏豪　氏

Ⅱ部　栃木市における成年後見制度の取り組み

成年後見サポートセンター

Ⅲ部　シンポジウム

テーマ「今後の成年後見制度と市民後見人への期待」

コーディネーター　白鷗大学法学部准教授　矢島秀和　氏

シンポジスト　栃木県弁護士会　髙橋拓矢　氏

成年後見センター・リーガルサポート

とちぎ支部　小板橋薫　氏

栃木県社会福祉士会権利擁護センターぱあとなあと

ちぎ　松本裕行　氏

栃木市保健福祉部長　首長正博　氏

市民後見人　殿塚光之　氏

オブザーバー　宇都宮家庭裁判所栃木支部　梅﨑忠仁　氏

場　所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木市文化会館）小ホール

参加人数　１００人

b　市民後見人養成講座フォローアップ研修の開催

市民後見人養成講座基礎編の修了者に対し、成年後見制度をより深く習得することを目的に、フォローアップ研修を栃木保健福祉センターで３回開催した。

開催日	講　師	内　容	受講人数
令和５年 ７月２４日（月）	栃木県社会福祉士会 松本裕行　氏	意思決定支援	１１人
１１月２７日（月）	日本アンガーマネジメント協会 山本果奈　氏	アンガーマネジメント	１０人
令和６年 ３月２５日（月）	越谷市社会福祉協議会 染谷優太　氏	あんしんみまもり事業	１０人

c　出前講座の開催

成年後見制度の普及啓発を図るため、地域住民や関係機関に対し、出前講座を開催した。

開催日	内　容	依頼団体等	参加人数
令和５年 ４月１４日（金）	成年後見事業の事例検討	栃木地区職員研修協議会	３８人
１１月　６日（月）	終活の知識とエンディングノートの活用について	西方地区社協・西方民児協	２０人
令和６年 １月１６日（火）	日常生活支援事業と成年後見制度他	地域包括ケア推進課	５６人

（エ）成年後見推進委員会の開催（地域福祉課）

成年後見制度の利用の促進に関する法律及び成年後見制度利用促進基本計画に基づき、栃木市における市民後見人制度を含む成年後見制度の推進等に関して必要な事項を検討するため、栃木市成年後見推進委員会を、年４回開催した。

委員のメンバーとして行政書士(コスモス成年後見サポートセンター栃木支部）１名が今年度より加わった。

開催日	内　容
令和５年 ６月２３日（金）	・委員長副委員長の選任について ・栃木市成年後見制度利用促進計画に係る実現に向けた取り組みと今後の指標について ・令和５年度成年後見制度・市民後見人啓発事業について ・市民後見人養成講座（入門編）・（基礎編）フォローアップについて ・市民後見人候補者の年齢について
９月　１日（金）	・市民後見人候補者の年齢について
１２月　８日（金）	・第２期栃木市成年後見制度利用促進計画の策定について ・市民後見人養成講座基礎カリキュラム内容について ・受任者調整会議の結果、専門職への事例提供の流れについて
令和６年 ３月　１日（金）	・栃木市市民後見人養成のガイドラインについて

（オ）市民後見人養成講座　入門編・基礎編

身近な地域で暮らす市民が市民後見人として、成年後見制度の正しい知識と関連する諸制度及び後見人の倫理の習得を目的に開催した。

【入門編】

	開催日	内容	参加人数
１日目	令和５年 １１月　６日（月）	成年後見制度入門他	３０人
２日目	１１月１３日（月）	日常生活自立支援事業について・対象者理解他	２９人
３日目	１１月２０日（月）	後見人のための法律的知識・申立の流れと家庭裁判所の役割り他	２９人

【基礎編】

	開催日	内容	参加人数
１日目	令和６年 １月１１日（木）	成年後見制度の基礎	２２人
２日目	１月２２日（月）	対象者の理解	２３人
３日目	２月　２日（金）	民法	２３人
４日目	２月　９日（金）	関係制度・法律	２３人
５日目	２月１６日（金）	コミュニケーション技法	２２人

（カ）市民後見人の監督

市民後見人と３カ月に一回面談を行い、毎月の後見活動状況・収支状況の把握・確認を行い、後見活動等の相談に応じ、助言を行った。また、市民後見人として、宇都宮家庭裁判所へ１年間の定期報告を行った。

ウ　日常生活自立支援事業（あすてらすとちぎ）の実施（地域福祉課）※受託

市内の認知症高齢者、知的障がい者等、判断能力が十分でない方や日常生活に不安を感じている方の生活をサポートするため、専門員２人、生活支援員２８人を配置し、各種の相談に応じるとともに、福祉サービス利用援助や金銭管理サービス等の支援サービスを実施した。

相談件数　　１，０２９件
訪問調査回数　３０８回
支援回数　　４３７回
実利用人数　　５６人（うち新規６人、年度中終了６人）
（内訳）
高齢者１５人、精神障がい者１７人、知的障がい者２０人、
身体障がい者４人

5 介護保険事業及び障がい福祉サービス事業等の実施

（１）栃木市在宅介護サービス事業所連絡会の開催・運営（福祉サービス課）

栃木市における介護保険事業等の活性化と福祉サービスの一層の充実を図るために設立された栃木市在宅介護サービス事業所連絡会の事務局を担い、市内介護保険事業所の資質向上を図ることを目的に、会員への連絡調整やメールを活用した情報発信、交流や研修会の企画・立案を行った。

ア　栃木市在宅介護サービス事業所連絡会第１回研修会の開催

開催日　　令和６年２月８日（木）
場　所　　栃木保健福祉センター
講　師　　栃木市高齢介護課　介護保険係長　関美代子氏
大平地域包括支援センター　松浦雅彦氏
内　容　　令和６年度介護報酬改定等について
栃木市における高齢者虐待の現状
参加人数　３２人

（２）栃木市事業所交流・学習会（丸ごと障介サロン）の開催（福祉サービス課）

栃木市の福祉力の向上と地域共生社会の実現を目指すため、福祉関係者の連携強化を目的に、地域の障がい者や要介護者等の日常生活を支える介護保険事業所と障がい福祉サービス等事業所間の情報共有と相互理解を図る場として、栃木市事業所交流・学習会（丸ごと障介サロン）全４回を栃木保健福祉センターで開催した。

開催日	研修内容	参加人数

令和５年 ７月２１日（金）	福祉ＳＯＳゲームを通して地域共生社会を考えよう 講師：栃木市社会福祉協議会地域福祉係	１８人
９月１５日（金）	悪質商法から身を守るために最新の手口を知ろう！ 講師：栃木市市民生活課	２０人
１１月１７日（金）	知ってほしいな！こころの病気 講師：栃木市障がい福祉課	３０人
令和６年 １月１８日（木）	生活困窮者への支援について 講師：栃木市社会福祉協議会栃木市くらしサポートセンター	３２人

（３）介護保険事業の実施

ア　介護保険事業職員研修会の開催（福祉サービス課）

より良いサービスを提供し、事業所への信頼や価値を高めるため、介護保険事業職員を対象とした研修会を開催した。（障がい福祉サービス事業職員研修会と合同開催）

開催日	研修内容	参加人数
令和５年 ７月１４日（金） ２１日（金）	腰痛予防対策 「腰痛予防体操」について	４８人
１０月２５日（水）	虐待防止 「虐待防止の対応」について	５４人

※参加者には障がい福祉サービス事業従事職員を含む。

イ　居宅介護支援事業の実施（大平支所）

介護保険法に基づく居宅介護支援及び介護予防支援業務（ケアプラン作成等）を１事業所（栃木市社協ケアプランセンター）で実施した。

実利用人数　　３１０人
延べ作成件数　　３，６１５件
月平均作成件数　３０１．３件

ウ　訪問介護（ホームヘルプサービス）事業の実施（福祉サービス課、大平支所）

（ア）訪問介護

介護保険法に基づいて、要介護状態の方の居宅における入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯、買物等の生活援助を行う訪問介護事業を２事業所で実施した。

		北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用者人数		８２人	７４人	１５６人
身体介護	派遣回数	１，８２３回	３，０９１回	４，９１４回
	派遣時間	９９９時間２５	１，９８８時間３	２，９８７時間５５

		分	0分	分
生活援助	派遣回数	3，851回	6，676回	10，527回
	派遣時間	3，917時間5分	6，425時間20分	10，342時間25分
身体生活	派遣回数	1，455回	1，416回	2，871回
	派遣時間	1，526時間35分	2，049時間20分	3，575時間55分

（イ）訪問介護相当サービス

要支援と認定されている方の入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯､買物等の生活援助を行う訪問介護相当サービス事業を２事業所で実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	35人	27人	62人
派遣回数	1，532回	1，184回	2，716回
派遣時間	1，533時間55分	1，174時間	2，707時間55分

（ウ）緩和した基準による訪問型サービス

栃木市総合事業の事業対象者と特定されている方の調理、洗濯、買物等の生活援助を行う緩和した基準による訪問型サービスを２事業所で実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	27人	15人	42人
派遣回数	978回	501回	1，479回
派遣時間	733時間30分	375時間45分	1，109時間15分

エ　通所介護事業の実施（福祉サービス課、大平支所）

介護保険法に基づいて、入浴サービスや食事の提供、日常動作訓練、その他必要な介助等を行う通所介護事業及び通所型サービス（総合事業）を２事業所で実施した。

	デイサービス福寿園	大平高齢者デイサービスセンターまゆみ
営業日	月～土 （1月1日～3日除く）	月～土 （祝日・12月29日～1月3日除く）
実利用人数	51人	76人
営業日数	307日	292日
延べ利用人数	4，331人	6，843人
1日平均利用人数	14．1人	23．4人

（４）要介護認定調査事業（指定市町村事務受託法人）の実施（福祉サービス課）

指定市町村事務受託法人の指定を受け、要介護認定調査業務を実施した。専任の調査員２名を配置し、社協ケアプランセンターが協力して業務を行った。

栃木市認定調査委託　　１，２００件

（５）障害者総合支援事業等

ア　障がい福祉サービス事業職員研修会の開催（福祉サービス課）

より良いサービスを提供し、事業所への信頼や価値を高めるため、障がい福祉サービス事業職員を対象とした研修会を開催した。（介護保険事業職員研修会と合同開催）

開催日	研修内容	参加人数
令和５年 ７月１４日（金） ７月２１日（金）	腰痛予防対策 「腰痛予防体操」について	４８人
１０月２５日（水）	虐待防止 「虐待防止の対応」について	５４人

※参加者には介護保険事業従事職員を含む。

イ　相談支援事業（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）の実施（福祉サービス課）

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づいて、サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成等を、1事業所（相談支援事業所　社協とちぎ）で実施した。

	特定相談支援事業	障害児相談支援事業
実利用人数	４５人	９２人
延べ作成件数	１４９件	２６０件

ウ　障がい者居宅介護（ホームヘルプサービス）事業の実施（福祉サービス課、大平支所）

障害者総合支援法に基づいて、障がい者の居宅における入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯、買物等の家事援助、通院時の介護や視力障がい者の同行援護を行う障がい者居宅介護事業を２事業所で実施した。

		北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数		３３人	１２人	４５人
身体介護	派遣回数	４５９回	６９回	５２８回
	派遣時間	３０６時間００分	３４時間３０分	３４０時間３０分
家事援助	派遣回数	２，７７７回	１，６３１回	４，４０８回
	派遣時間	２，７１２時間５５分	１，７４３時間	４，４５５時間５５分
通院介護	派遣回数	０回	１３回	１３回
	派遣時間	０分	５０時間	５０時間
同行援護	派遣回数	３０４回	３２回	３３６回
	派遣時間	４００時間４０分	５７時間	４５７時間４０分

エ　就労継続支援Ｂ型事業の実施（都賀支所）

障害者総合支援法に基づいて、障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、知識及び能力の向上を図ることを目的に、就労の機会の提供や生産活動等を行う就労継続支援Ｂ型事業を１事業所（就労継続支援センターいちごの郷）で実施した。

実利用人数	１４人
営業日数	２４５日
延べ利用人数	２，９０２人
１日平均利用人数	１１．８人
主な生産活動	折り紙の加工・梱包、古着リサイクル、農作業、小物品等、アクリルたわし、アルミ缶・段ボール回収、ヘアゴム
販売・ＰＲ・交流活動	リサイクル販売・オレンジカフェ・ホームページ・ふくぴーだより・イオン黄色いレシートキャンペーン・公園清掃・障がい者スポーツ大会・わくわく広場・カラオケ交遊会・都賀の里ハスまつり・そば打ち体験・にしかた軽トラ市・野外訓練（都賀地活・藤岡地活合同）
主な行事	調理実習（カレー、しもつかれ）、お楽しみ会（七夕、クリスマス会、節分、雛祭り）、避難訓練、水害時対応訓練、買い物訓練、花見、野菜作り（ゴーヤ・スイカ）、都賀地域のクリーン活動・自立訓練・宿泊訓練・交通安全 DVD 鑑賞会

オ　児童発達支援事業の実施（福祉サービス課）

児童福祉法に基づいて、日常生活における基本的動作や知識技能の習得、集団生活への適応を図ることを目的に、障がいを持った未就学児童の心身の状況や環境に応じた指導、訓練を行う児童発達支援事業を１事業所（キッズホームとちぎ）で実施した。

実利用人数　　２４人
営業日数　　２４３日
延べ利用人数　　１，４７７人
１日平均利用人数　６．１人

また、保護者が日常生活で子供にうまく関わることで、子供の行動をポジティブに変えて、日常生活での子育ての困りごとを減らしたり、発達を促したりすることを目的に、保護者のスキルをトレーニングするペアレント・トレーニングを実施した。

実施日数　　１０日
実参加人数　　５人
延べ参加人数　３５人

6 組織の基盤強化

（１）理事会及び評議員会等の開催（法人運営課）

ア　理事会

第1回	開催日	令和５年６月７日（水）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長の専決処分事項の承認、令和４年度事業報告の承認、令和４年度決算の承認、令和５年度定時評議員会の開催、評議員選任・解任委員会委員の選任、評議員選任・解任委員会の開催、評議員選任候補者の推薦
第2回	開催日	令和５年６月２６日（月）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長、副会長及び常務理事の選定等、苦情解決のための第三者委員の委嘱、評議員選任・解任委員会委員の選任
第3回	開催日	令和５年１０月５日（木）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長及び常務理事の職務執行状況について、会長の専決処分事項の承認（令和５年度資金収支補正予算（第１号））、令和５年度資金収支補正予算（第２号）、令和５年度第２回評議員会の開催、評議員選任候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の開催
第4回	開催日	令和５年１２月４日（月）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	令和５年度資金収支補正予算（第３号）、定款の一部変更、令和５年度第３回評議員会の開催

第5回	開催日	令和６年３月７日（木）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長及び常務理事の職務執行状況について、令和５年度資金収支補正予算（第４号）、令和６年度事業計画（案）、令和６年度資金収支予算（案）、令和５年度第４回評議員会の開催、苦情解決のための第三者委員の委嘱

イ　評議員会

定時	開催日	令和５年６月２６日（月）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長の専決処分事項の承認、令和４年度事業報告の承認、令和４年度決算の承認、役員の選任、苦情解決のための第三者委員の委嘱
第2回	開催日	令和５年１０月１６日（月）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長の専決処分事項の承認、令和５年度資金収支補正予算（第２号）
第	開催日	令和５年１２月１４日（木）

3回	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	令和５年度資金収支補正予算（第３号）、定款の一部変更
第4回	開催日	令和６年３月１９日（火）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	令和５年度資金収支補正予算（第４号）、令和６年度事業計画（案）、令和６年度資金収支予算（案）、苦情解決のための第三者委員の委嘱

ウ　監査

開催日　　令和５年５月２２日（月）
場　所　　栃木保健福祉センター
内　容　　令和４年度事業報告、収支決算について

エ　評議員選任・解任委員会

開催日　　令和５年６月１６日（金）
場　所　　栃木保健福祉センター
内　容　　評議員の選任について
開催日　　令和５年１０月５日（木）
場　所　　栃木保健福祉センター
内　容　　評議員の選任について

オ　事務局会議

開催日　　原則毎月第３月曜日（年１２回　うち、拡大事務局会議２回）
場　所　　栃木保健福祉センター

カ　経営改善プロジェクトチーム会議等

経営改善を図るため、課長以上の管理職に一部係長を加えた職員で構成されるプロジェクトチームを設置し、月に1回会議を行った。またプロジェクトチームの下部組織として、全正職員を対象にしたワーキンググループ（組織強化・財務強化・事業強化の３部会）を置き、部会ごとに定期的に会議を行った。さらに、経営安定化計画推進の迅速化及び本会の運営上重要な案件で緊急性を要するものの早期着手解決を目的とした重点テーマ別検討部会を開催し、懸案の事業等の方向性を協議検討することで共通認識を図った。

キ　係長会議

開催日　　原則毎月第４金曜日（年７回）
場　所　　栃木保健福祉センター

※会議が予定されていない月には、報告事項を回覧して代替した。

（２）社協会員の募集（法人運営課、各支所）

住民参加の促進と地域福祉の充実のため実施している「社協会員制度」について、自治会や地区社会福祉協議会の協力を得て、次のような実績を上げた。（普通会費１口５００円、特別会費１口３，０００円）

ア　普通会費

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合　計
加入件数	16,353 件	8,443 件	4,278 件	3,279 件	1,501 件	4,687 件	38,541 件
加入口数	16,353 口	8,443 口	4,278 口	3,279 口	1,567 口	4,687 口	38,607 口
金額	8,176,948 円	4,221,500 円	2,139,000 円	1,639,500 円	783,010 円	2,343,800 円	19,303,758 円

イ　特別会費

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合　計
加入件数	1,087 件	47 件	42 件	64 件	47 件	93 件	1,380 件
加入口数	1,207 口	57 口	49 口	92 口	58 口	117 口	1,580 口
金額	3,629,000 円	171,000 円	150,000 円	282,000 円	176,000 円	356,000 円	4,764,000 円

（３）寄附金の受け付け（法人運営課）

本会運営資金の確保や住民参加による地域福祉の推進を図ることを目的に、各種寄附金を受け付けた。また、福祉基金の利息を地域福祉事業に活用した。

区　分	件　数	金　額
福祉基金	８４件	２，５７２，７８４円
マイクロバス	３０件	１９５，０００円
生活困窮	２２件	５１３，８４３円
一般物品	３６件	－
生活困窮物品	２２７件	－
計	３９９件	３，２８１，６２７円

（４）経営安定化計画評価委員会の開催（法人運営課）

経営安定化計画に掲げる取り組みの進行状況を評価し、円滑な計画推進を図っていくため、経営安定化計画評価委員会を開催した。

開催日　　令和５年８月２４日（木）

場　所　　栃木保健福祉センター

（５）専門性の高い課題への対応強化（各課・各支所）

職員の資質向上を図るため、栃木県や栃木県社会福祉協議会、栃木市などの外部の機関が実施する研修会や講習会に職員が参加した。

（６）市施設の指定管理

ア　老人福祉センターの管理運営（福祉サービス課）

地域の高齢者に明るく健康的な日々を過ごしていただけるよう、福祉・介護相談や各種講座の開催、レクリエーションの場の提供など、高齢者の健康増進や教養の向上を図ることを目的に、指定管理者として２か所の老人福祉センターの管理･運営を行った。

また、職員の資質向上のため、長寿園、福寿園合同で普通救命講習会を開催した。

【利用状況】

	長寿園	福寿園
開園日数	２９７日	２９７日
延べ利用人数	２３，７６７人	１３，２４５人

【延べ利用人数の内訳】

	長寿園	福寿園
当日券利用６０歳以上	５，９８３人	２，７０７人
一　　般	２９４人	５９人
市外居住者	４７人	１０人
回数券利用６０歳以上	１０，６４２人	４，４２１人
一　　般	２７１人	３１人
市外居住者	４５人	０人
減　免　者	２，２６１人	４，２０９人
障がい者等	４，１４３人	１，４７５人
小学生以下	７８人	１７８人
団　　体	３人	１３８人
どまんなか協定該当者	０人	１７人

無料開放日利用者(県民の日、敬老の日等)	２０５人	５２５人

【主な事業】

		長寿園	福寿園
マッサージ	実施日数	２９７日※フットマッサージ	２９８日
	延べ利用人数	３，５６７人	４，３４２人
ヘルストロン	実施日数	東日本台風による水没のため撤去	２９８日
	延べ利用人数	―	２，７８３人
健康・介護相談	実施日数	随時	随時
	延べ利用人数	２１人	２２人
地域の包括的な相談支援（継続）	実施日数	随時	随時
	延べ利用人数	４人	１人

【長寿園】

事業名	内　容	回数	延べ利用人数
運動教室	内容変更し４教室（各６回）	２４回	４１１人
転倒予防体操教室	転倒予防体操	２１回	４１３人
運動＋脳トレ体操教室	運動しながら脳トレーニング	２２回	３６７人

ヨガ教室	ヨガ体操	２２回	３７９人
お茶をしながらはじめての英会話	はじめての英会話	１１回	９７人
スマートフォン教室	災害時のスマホ活用法を学ぶ	１回	１７人
世代間交流事業（そのべ児童館）	運動会、ビクス	２回	８人
クリスマスコンサート（シニアクラブ合同）	クリスマスギターコンサート	１回	４０人
栃木市出前講座	すいみん、オーラルフレイル	２回	２１人
折紙教室	くす玉作り	４回	３２人
新春福引き	来場者に福引き（１月５日）	１回	１００人

【福寿園】

事業名	内　容	回数	延べ利用人数
転倒予防運動教室	椅子に座った運動及びボールを使った体操	１０回	１０３人
脳活マッサージ教室	家庭でできるマッサージやツボ押しの実技及び体操	６回	６１人
若返りヨガ教室	椅子に座りたすきを使ったヨガ運動	５回	８８人
元気アップ教室	介護予防の講話及び実技（運動）他	１０回	１５７人
スマホ教室	スマホの基本操作､カメラの使い方、ライン方法	２回	２４人
ロビーコンサート	オカリナ、大正琴演奏	１回	３０人
新春福引き	来場者に飴を配布（１月５日）	１回	４９人
雅楽演奏会	日本古典音楽の演奏会	１回	３０人
ハッピーオレンジ DAY	認知症を理解するためのイベント	２回	２８０人

※認知症の方とその家族、地域住民等、誰でも自由に参加できる集いの場おれんじ喫茶ふくじゅを開設した。

※看護師の健康相談も併せて実施し、利用者からの健康不安や血圧の相談を対応した。

イ　栃木市そのべ児童館の管理運営（福祉サービス課）

児童に健全な遊びの場を提供し､健康増進や情操豊かな心を育むことを目的に､各種事業の計画的な実施や利用促進のためのＰＲ活動に努めるなど､指定管理者としてそのべ児童館の管理・運営を行った。

【利用状況】

開館日数	２９６日				
利用人数	７，３８４人				
内訳					
幼　児	３，２２７人	大人（保護者）			３，０７９人
小学生（１年生～３年生）	４２４人	団体	子ども		０人
小学生（４年生～６年生）	５４６人		大　人		０人

	中学生以上	１０８人		

【主な事業内容】

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ぺたぺたひろば(２３回)	２７８人	ビンゴ大会（２回）	８６人
きねんび☆photo（１２回）	１７６人	出張手形アート	１４９人
親子ビクス（１０回）	１７８人	子育てハッピーアドバイス	３４人
親子で愉快に笑いヨガ（3回)	３５人	初めてのお化け屋敷	２４人
おひさまクラブ（１１回）	１５２人	みんなで作るクリスマス	２４人
おはなしの玉手箱（７回）	７６人	新春福引き	３８人
フルートミニコンサート（2回)	５４人	その他の事業	３４４人
		合　計	１，６４８人

ウ　栃木市栃木第六地区コミュニティセンターの管理運営(福祉サービス課)

市民の自主的で個性的なコミュニティ活動の推進を図るため､指定管理者として施設の管理・運営を行った。

開館日　　３６０日
延べ利用団体数　１，２１７団体
延べ利用人数　　１１，７４３人

エ　地域活動支援センターの管理運営（藤岡支所、都賀支所）

障がい者に対する創作的活動や生産的活動の機会の提供、日常生活に必要な社会性の訓練、社会との交流促進事業など、障がい者の自立した生活を支援することを目的に、指定管理者として２か所の地域活動支援センターの管理・運営を行った。

	藤岡地域活動支援センター	都賀地域活動支援センター
実利用人数	１１人	４人
開館日数	２４３日	２４３日
延べ利用人数	８８８人	３４４人
１日平均	３．７人	１．４人
主な行事等	農業体験（ふれあい農園事業）、企業見学、そば打ち体験、都賀地域活動支援センター合同ボウリング、高齢者サロン訪問（２回）、そのべ児童館まつり出店、藤岡ふくしまつり出店、調理実習（３０回）、買物訓練、創作活動、機能回復訓練、広報活動用グッズ作り、野外訓練（就労継続支援センターいちごの郷・都	買物訓練、花見、調理実習（年４回)、クリスマス会、避難訓練(２回)、水害時対応訓練、外食訓練、七夕、節分、雛祭り、クリーン活動（２回）、園芸体験（グリーンカーテン制作・野菜花作り）、雑巾作り、認知症予防音楽ケア体操、２施設（就労継続支援センターいちごの郷・都賀地活）交流（自立訓練）、

	賀地活・藤岡地活合同、いちご狩り、老人福祉センターの体験利用等）、ウォーキング大会（３回）、謝恩会、クリスマス会、ひな祭り、お楽しみ会、防犯講座、防災講座、グリーンカーテン制作、生産活動（ハンガー組立、アルミ缶回収、封筒制作等）	身体障がい者スポーツ大会、ラジオ体操、ウォーキング体操、そば打ち体験、野外訓練（就労継続支援センターいちごの郷・都賀地活・藤岡地活合同）

オ　大平地域福祉センター（ふるさとふれあい館）管理運営（大平支所）

指定管理者として、施設の管理・運営を行った。

利用団体　　７９団体

利用回数　　１，７９４回

延べ利用人数　１５，２１４人

7 共同募金への協力

自治会等の協力を得て、次のような実績を上げた。

（１）赤い羽根共同募金（法人運営課、各支所）

目標額　　１５，１９４，０００円

実績額　　１５，００１，６１５円

【募金内訳】

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合　計
自治会	5,487,692円	2,458,900円	1,312,350円	989,300円	534,850円	1,450,830円	12,233,922円
法人募金	479,138円	213,500円	268,987円	208,000円	80,000円	389,644円	1,639,269円
学　校	203,622円	97,554円	43,525円	56,535円	19,968円	36,627円	457,831円
その他	324,230円	11,031円	7,243円	184,105円	22,343円	121,641円	670,593円
合　計	6,494,682円	2,780,985円	1,632,105円	1,437,940円	657,161円	1,998,742円	15,001,615円